

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ウィルローズ横須賀中央	階数	地上10F
建設地	神奈川県横須賀市小川町1-1外9番	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	221人
気候区分	地域区分	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2013年4月 予定	評価の実施日	2012年4月6日
敷地面積	993 m ²	作成者	山本 恵司
建築面積	685 m ²	確認日	
延床面積	5,541 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです (kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 1.8

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
Q1 室内環境 内装及び天井裏等にFの建材を採用し、シックハウスに配慮。	Q2 サービス性能 躯体は住宅性能表示基準の劣化対策等級3相当とし、また、設備の配管に耐用年数の長いものを採用するなど、建物の長寿命化に配慮。 階高を高く設定し、ゆとりある計画とする。	Q3 室外環境(敷地内) エントランス・駐車場等に防犯カメラを設置し、防犯に配慮。
LR1 エネルギー LEDランプ及び潜熱回収型ガス給湯器を採用し、設備の省エネルギーに配慮。	LR2 資源・マテリアル 水栓に節水コマの設置、節水型便器の採用など、水資源の保護に配慮。	LR3 敷地外環境 LCCO ₂ 排出量を抑えた計画とし、地球温暖化へ配慮。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される